



稚内アートフェスティバル 2017

北防波堤

8月26、27日の2日間にわたり、稚内港北防波堤ドームにてライブペインティングイベント「稚内アートフェスティバル2017」が、北防波堤ドーム公園で、「最北端・食マルシェ」が開催されました。

脚立の上で大キャンパスに向かって大胆に色を重ねていた広島県から参加の伊藤仁美さんは、「海を眺めながらのびのび描けて、すごくいい気持ち。来年も是非、来たい」と。一枚一枚、丁寧に見ていた女の子は、「どれもみんな好き」、来場者用のキャンパスには、「もう描いてきちゃった」と楽しそう。

北防波堤ドームが完成したのは1936（昭和11）年。襲いかかる波浪を凝固させたような独特のドームの形は、その厳しい風と波を克服するために建設されました。長さ427m、海面からの高さ13.6m、内幅8.0m。サハリンと稚内の歴史を見つめ、老朽化していましたが、1980（昭和55）年、忠実に復元されました。今では私たちの大切な財産です。

*当誌2017年7月号「北防波堤ドーム竣工80周年記念セミナー～稚内市民のくらしと稚内港」をご覧ください（当協会ホームページに掲載）。

表紙：ドームがアトリエに早変わり

目次：70本の太い列柱がキャンパスをしっかりと守ります

裏表紙：27日、同時開催された北海道立総合研究機構稚内水産試験場に所属する試験調査船北洋丸の一般公開。豊かな水産資源を守り育てるため、はるかな海上で試験調査を行っています

ドームがアトリエに



稚内市建設産業部
部長 鈴木 聡 様



稚内市建設産業部 観光交流課
主査 阿部 徹 様

芸術分野でも、稚内を発信したかったんです。1年がかりの準備で、ようやく道内でもこの規模では初めてのライブペインティング開催にこぎ着けました。

今年は、稚内市と沖縄県石垣市の友好都市締結30周年で、食マルシェに石垣市から助っ人も来てくれました。北緯45度と24度の交流です。芸術と宗谷黒牛の丸焼き、そして新鮮な八重山漁業協同組合のマグロも是非、味わってほしいです。

お天気にも恵まれ、無事アートフェスを開催できてほっとしています。市民キャンパス1枚を含む30枚のキャンパスのうち、宮古島からのアーティストを含む道外からの参加者が17を占めました。地元稚内出身の参加者もいます。

実際にやってみると、いろいろ改善点も出てきました。できれば来年以降も継続して、さらにもっと楽しいものにしていきたい。